

	釧路市立山花小中学校	学級数	5	児童生徒数	20	開校117周年
目 標	【開校の様子】 明治24年に愛知県、岐阜県からの入植者により地域の開墾が始まった。本校は明治34年に穂禰平簡易教育所として開校し、当時は鳥取村より任せられた教員1名が馬に乗り、隔日に通い教授していた。大正5年に穂禰平小学校と改称、昭和27年に釧路市立山花小中学校と改称された。					
学校経営の方針	自主と創造をめざし、自然から学び、心豊かにたくましく生きる子の育成 知 よく考え 進んで 学習する子 情 明るく 思いやりのある子 意 ねばり強く やりぬく子 体 健康で たくましい子 1. 児童生徒一人一人に目を向け、互いに学び合う力を育てると共に、個々の状況を把握しながら基礎的な学習内容の確実な定着、思考力、判断力、表現力等の学力の向上を図る。 【少人数制を生かした取り組み】 2. 小学校、中学校の垣根を取り払い、互いの専門性を生かし、同じ価値観を共有し、協力しながら子どもの育ち、学びを9年間にわたって支え、見守る教育活動を展開する。 【小中併置校を生かした取り組み】 3. ユネスコスクールとしての役割を果たすと共に、様々な外部機関・人材を生かした特色ある教育課程を編成し、豊かな体験や学びを保障する取組の充実を図る。 【特色ある教育活動への取り組み】 4. 児童生徒が互いに認め合う気持ち、支え合う心を育てると共に、教職員自らが児童生徒の心によく目を向け、人権尊重の精神で児童生徒に接することを通して、差別やいじめを許さない健全な人間としての心の育成を図る。 【道徳性向上への取り組み】 5. 新体力テストを活用し、児童生徒個々に合わせた運動課題を設定し、その課題に応じた体力作りを年間通じて取り組むと共に、望ましい生活習慣の育成に努める。 【健康・体力の向上への取り組み】 6. 児童生徒一人一人の個性や特性を把握し、適切な支援のあり方について全教職員で共通理解を図り、「共生」の観点に立って互いに支え合う人間関係の醸成に努める。 【特別支援教育の取り組み】 7. 山花地区の豊かな自然や地域の人的・物的環境を最大限生かした教育活動の展開を図る。 【地域を生かした取り組み】 8. 教育専門職としての自覚を持ち、幅広い知識の習得と実践的指導力を高めるため、教職員自らが互いに学び合い、協力し合うことを大切にして、自らの資質向上を図る。 【資質向上のための取り組み】 9. 子どもの視点に立った学校の教育環境の整備、教職員の視点に立った職場環境の整備に努め、心身共に健康で安全な学校生活を送ることができる環境整備に努める。 【安心・安全な学校づくりへの取り組み】 10. 保護者や地域に対し積極的に学校を開くと共に、時宜を得た情報を発信することに努め、強固な信頼関係の確立を図る。 【開かれた学校づくりへの取り組み】					
今年度の重点課題	1. 小中併置校であるという条件が持つ特性を生かした教育課程を編成し、実践研究に取り組む。 (1) 9年間の連続した学びを見通した教科・道徳・外国語（活動）・総合的な学習・特別活動の指導計画を策定し、個人カルテの有効的な活用を図ると共に、PDCAサイクルを用いて実践を検証する。 (2) 中学校教員による小学校への乗り入れ授業を積極的に推進する。 2. ユネスコスクールとしてESDの実践研究に取り組む。 (1) ESD推進の中核として、食育（栽培学習）、国際理解教育、環境教育、防災・減災教育、キャリア教育を取りあげ、年間指導計画の見直しを図る。 (2) ESD推進の内容と教科の関連を図った年間指導計画を策定し実践をする。 3. 特認校として、学校力を向上させることにより学校としての魅力・価値を高め、特認生の確保を図る。 (1) 基礎学力の向上とその把握のため、読み・書き・計算・音読・視写等の検定システムを構築し、定期的に定着度合いを測り、日常の指導に反映することにより授業改善に取り組む。 (2) 体力向上の取組の改善を図り、基礎的な体力の向上を図る。 (3) 外部人材の有効活用等を通じ、「価値ある体験」ができる機会を積極的に取り入れ、「本校でこそできる教育」の構築に取り組む。					
研究主題	「主体的に学び活動する児童生徒を育てる小中一貫教育の推進」 ～ 9年間の連続した学びの中で、個を見取り、よさを伸長する教育を紡いで ～					
地域・児童生徒学校の実態	本校は豊かな自然にいだかれた小規模・小中併置校であり、今年度は小学生8名中学生11名が仲良く一生懸命に学校生活を送っている。地域の主産業は酪農業で広大な牧草地がどこまでも広がっている。山花美濃地区の温かな地域の方々に様々なサポートをいただきながら特色ある教育活動を進めている。また、市内で唯一の特認入学が認められており市内全域から児童生徒が通学している。					
特色ある教育活動	<総合的な学習> ・農園栽培学習 ・動物園学習 ・キャリア教育 ・花壇づくり <体力づくり> ・朝の運動「いきいきタイム」・スキー学習 ・駅伝大会 <地域交流> ・山花美濃町内会との連合運動会 ・地域参観日 <その他> ・ランチルームにおける全校給食 ・ユネスコスクール					
具体例	農園栽培学習 子どもたちは40m四方もある広い農園で、ESD教育の一環として野菜を栽培する。地域の方々にもアドバイスをいただき、種蒔きから収穫まで連続した活動の中で植物の成長を通して多くの事を学ぶ。					

秋には、学校祭で栽培学習を通して学んだことを発表する。



動物園学習

隣接する釧路市動物園において年3回の動物園学習を行う。グループごとに担当する動物を決め、えさの仕込み、獣舎の清掃、給餌と一連の作業を進める。学習を通して、動物たちの命の営みに触れ、かけがえない生命の尊さを学ぶ。

